令和6年度
老人福祉施設等における事故報告
集計結果

Ⅰ　令和6年度の状況
　１　　事故の内容
　２　　事故の月別発生件数
　３　　事故の内容別月別発生件数
　　(1)　骨折の月別発生件数
　　(2)　打撲の月別発生件数
　　(3)　誤薬の月別発生件数
　　(4)　無断外出の月別発生件数
　　(5)　誤嚥の月別発生件数と重症化
　４　　骨折と打撲における受傷部位
　５　　事故の施設別発生件数
　６　　事故の発生事例
Ⅱ　令和6年度の重大事故
　１　　重大事故・死亡事故の割合
　２　　重大事故の内容
　３　　重大事故の月別発生件数
　４　　重大事故の施設別発生件数
Ⅲ　年度比較
　１　　事故報告件数の年度推移
　２　　事故の内容
Ⅳ　その他
　１　　対象施設一覧

北海道保健福祉部

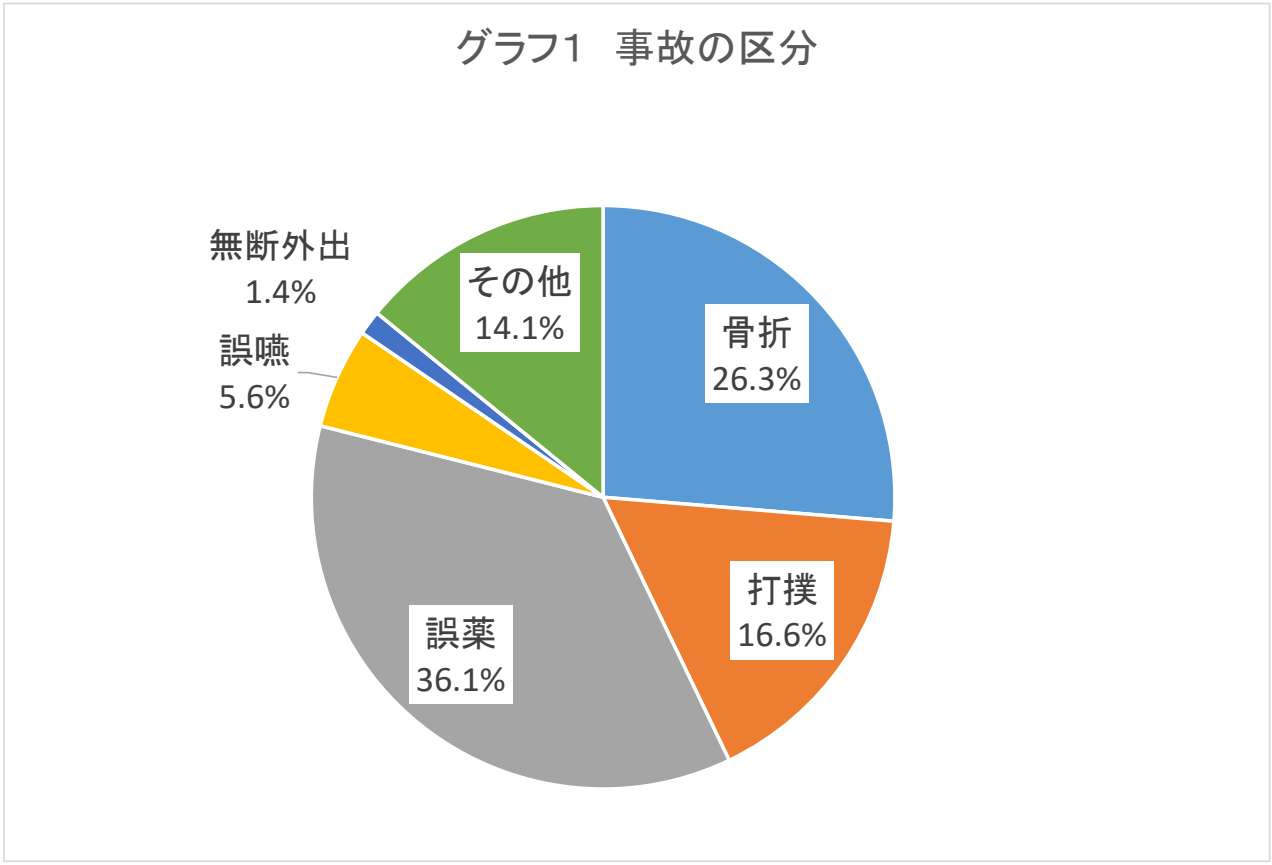
Ⅰ　令和6年度の状況

1　事故の内容

表1　事故の区分　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
骨折　※1	3,425	26.3
打撲　※2	2,158	16.6
誤薬	4,694	36.1
誤嚥　※3	727	5.6
無断外出	176	1.4
その他	1,838	14.1
合　計	13,018	100.0

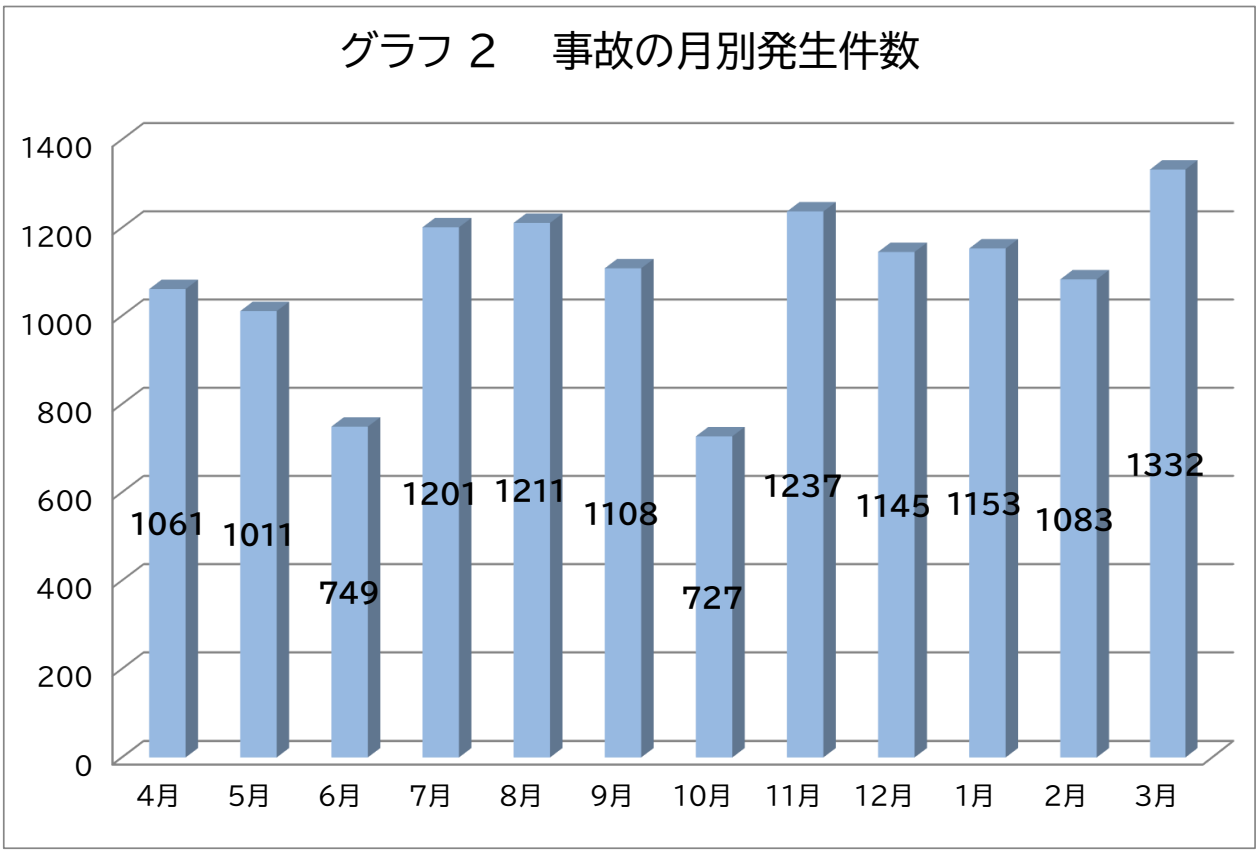
※1　骨折　：　骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。
※2　打撲　：　打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。
※3　誤嚥　：　誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。



令和6年度の事故報告の総数は前年度に比較し、8.0%増加して13,018件であった。事故で最も多かったのは「誤薬」の4,694件で、全体の36.1%となっており、次いで「骨折」(26.3%)、「打撲」(16.6%)の順となっている。
また、「誤薬」、「骨折」、「打撲」で全体の約8割を占めている。

表２　事故の月別発生件数　　（単位：件、%）

月	件数	構成比
４月	1,061	8.2
５月	1,011	7.8
６月	749	5.8
７月	1,201	9.2
８月	1,211	9.3
９月	1,108	8.5
10月	727	5.6
11月	1,237	9.5
12月	1,145	8.8
１月	1,153	8.9
２月	1,083	8.3
３月	1,332	10.2
合　計	13,018	100.0



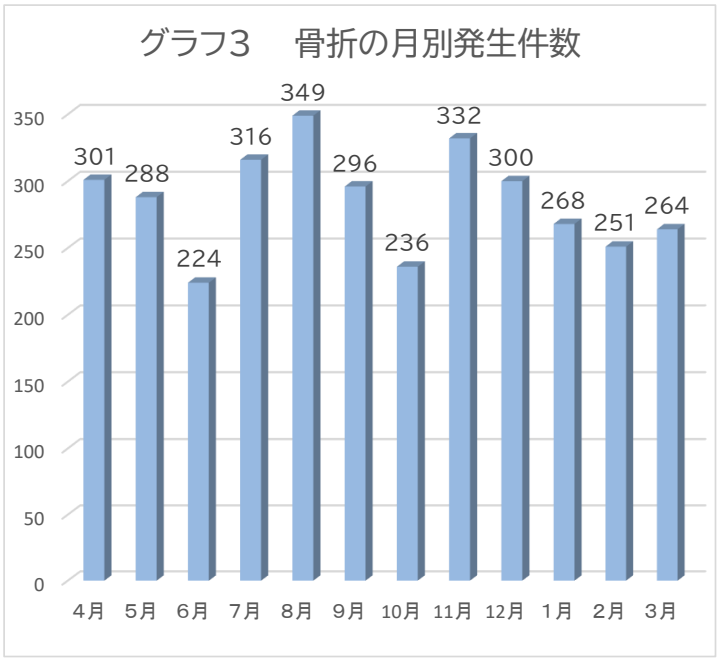
事故の月別発生件数は、３月が1,332件と最も多く、次いで11月が1,237件となっている。最も少ないのは10月の727件となっている。

3　事故の内容別月別発生件数

(1) 骨折の月別発生件数(表3)

（単位：件、%）

月	件数	構成比
4月	301	8.8
5月	288	8.4
6月	224	6.5
7月	316	9.2
8月	349	10.2
9月	296	8.6
10月	236	6.9
11月	332	9.7
12月	300	8.8
1月	268	7.8
2月	251	7.3
3月	264	7.7
合　計	3,425	100.0

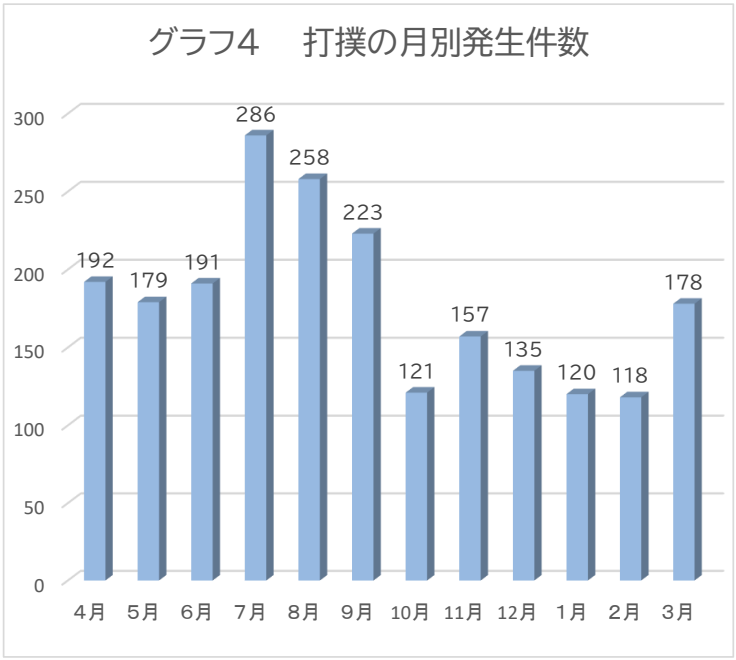


骨折の月別発生件数は、8月が349件と最も多く、次いで11月が332件となっている。最も少ないのは、6月の224件である。

(2) 打撲の月別発生件数(表4)

（単位：件、%）

月	件数	構成比
4月	192	8.9
5月	179	8.3
6月	191	8.9
7月	286	13.3
8月	258	12.0
9月	223	10.3
10月	121	5.6
11月	157	7.3
12月	135	6.3
1月	120	5.6
2月	118	5.5
3月	178	8.2
合　計	2,158	100.0

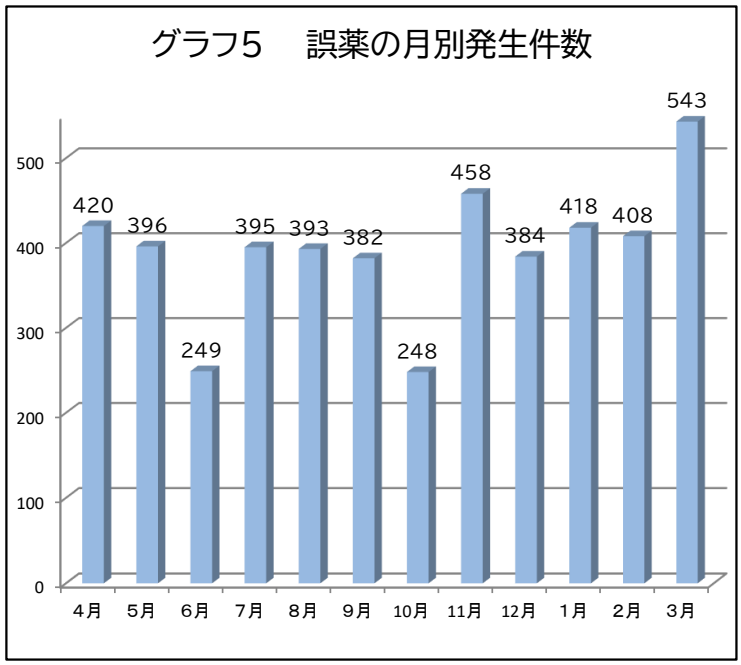


打撲の月別発生件数は、7月が286件と最も多くなっている。次いで、8月が258件となっている。最も少ないのは、2月の118件である。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位 : 件、%)

月	件数	構成比
4月	420	8.9
5月	396	8.4
6月	249	5.3
7月	395	8.4
8月	393	8.4
9月	382	8.1
10月	248	5.3
11月	458	9.8
12月	384	8.2
1月	418	8.9
2月	408	8.7
3月	543	11.6
合　計	4,694	100.0

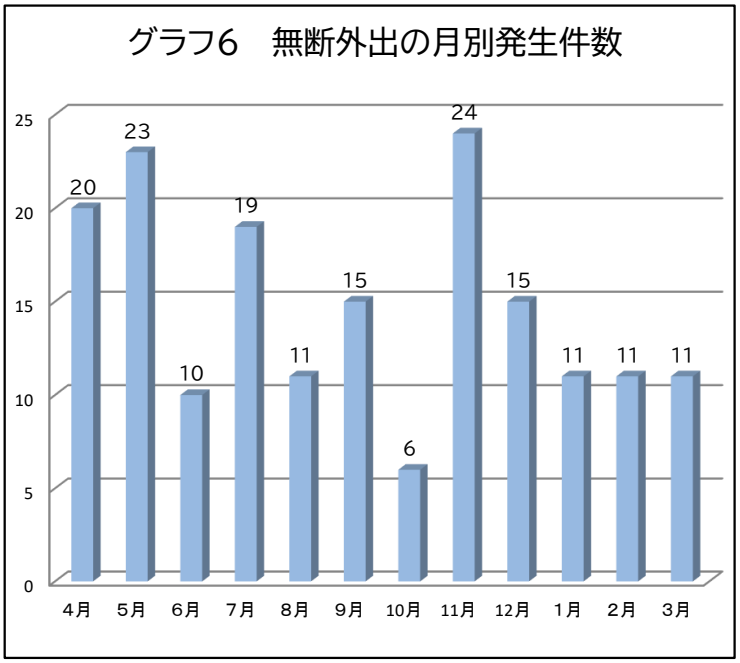


誤薬の月別発生件数は、3月が543件と最も多く、次いで11月が458件となっている。最も少ないのは、10月の248件である。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位 : 件、%)

月	件数	構成比
4月	20	11.4
5月	23	13.1
6月	10	5.7
7月	19	10.8
8月	11	6.3
9月	15	8.5
10月	6	3.4
11月	24	13.6
12月	15	8.5
1月	11	6.3
2月	11	6.3
3月	11	6.3
合　計	176	100.0



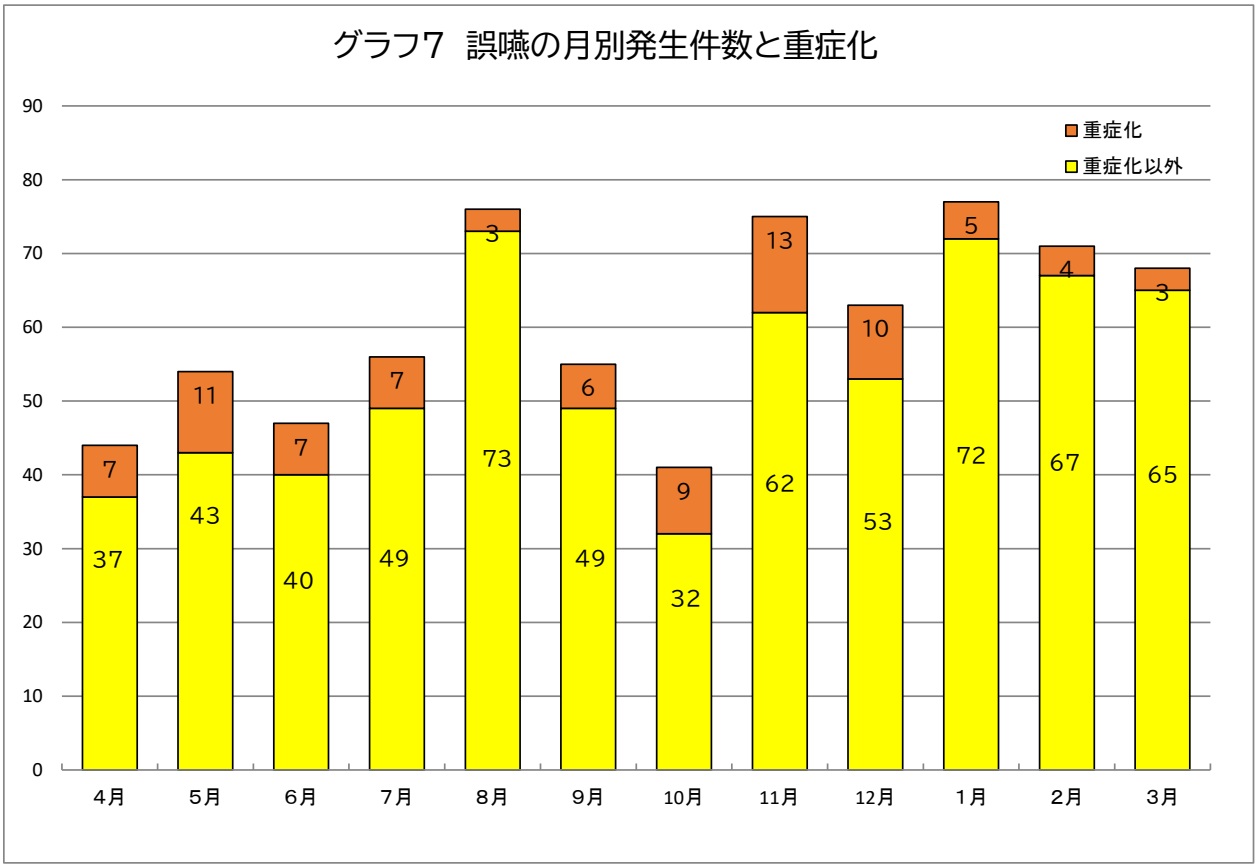
無断外出の月別発生件数は、11月が24件と最も多く、次いで5月が23件となっている。最も少ないのは、10月の6件である。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化（表7）

（単位 ： 件、%）

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	44	37	7	15.9
5月	54	43	11	20.4
6月	47	40	7	14.9
7月	56	49	7	12.5
8月	76	73	3	3.9
9月	55	49	6	10.9
10月	41	32	9	22.0
11月	75	62	13	17.3
12月	63	53	10	15.9
1月	77	72	5	6.5
2月	71	67	4	5.6
3月	68	65	3	4.4
合　計	727	642	85	11.7

※　重症化　：　死亡や誤嚥性肺炎による入院など



誤嚥の月別発生件数は、1月が77件と最も多く、次いで8月が76件となっている。最も少ないのは、10月の41件である。

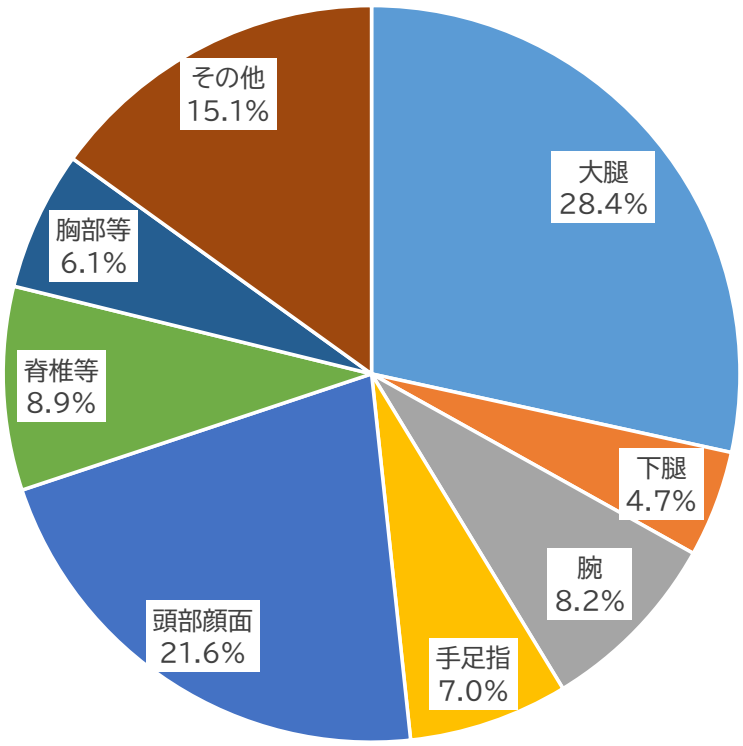
4　骨折と打撲における受傷部位

表8　骨折と打撲における受傷部位

（単位：件、%）

区　分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	1,587	28.4	1,506	44.0	81	3.8
下腿	261	4.7	158	4.6	103	4.8
腕	458	8.2	316	9.2	142	6.6
手足指	391	7.0	240	7.0	151	7.0
頭部顔面	1,205	21.6	59	1.7	1,146	53.1
脊椎等	499	8.9	424	12.4	75	3.5
胸部等	341	6.1	315	9.2	26	1.2
その他	841	15.1	407	11.9	434	20.1
合　計	5,583	100.0	3,425	100.0	2,158	100.0

グラフ8　　骨折と打撲における受傷部位



骨折と打撲における主な受傷部位は、「大腿」が全体の28.4%（1,587件）を占め、次いで「頭部顔面」が21.6%（1,205件）となっている。骨折は「大腿」が44.0%（1,506件）と最も多く、打撲は「頭部顔面」が53.1%（1,146件）と最も多い。

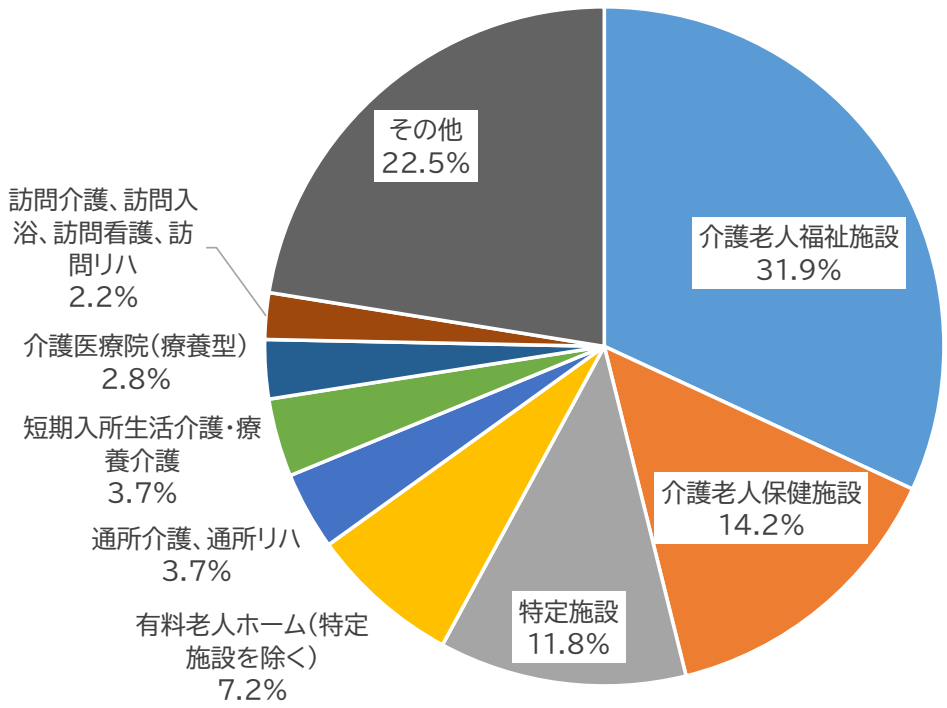
５　事故の施設別発生件数

表９　事故の施設別発生件数　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
介護老人福祉施設	4,153	31.9
介護老人保健施設	1,852	14.2
特定施設	1,533	11.8
有料老人ホーム（特定施設を除く）	933	7.2
通所介護、通所リハ	484	3.7
短期入所生活介護・療養介護	485	3.7
介護医療院（療養型）	366	2.8
訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハ	288	2.2
その他	2,924	22.5
合　計	13,018	100.0

※　地域密着型サービス事業所除く。

グラフ９　事故の施設別発生件数



事故の主な発生施設は、「介護老人福祉施設」が31.9%（4,153件）と最も多く、その他を除くと、次いで「介護老人保健施設」が14.2%（1,852件）となっている。

6 事故の発生事例

（1） 骨折・打撲

施設区分	事　故　概　要
介護老人福祉施設	食堂ホールにて椅子から転倒。右大腿部、右鼠径部に痛みの訴えあり搬送。右大腿骨転子部骨折と診断される。
介護老人福祉施設	トイレ介助中、職員がその場を離れた間に転倒。左大腿骨頸部骨折と診断され入院。
介護老人福祉施設	車椅子から移乗の際にバランスを崩し転倒。経過観察していたが、痛みが増強したため医療機構を受診し、左大腿骨骨折と診断。
特定施設(養護老人ホーム)	昼食後に食堂で転倒し、パネルヒーターに後頭部を強打。病院へ受診するが異常なし。頭部打撲。
訪問介護・訪問入浴介護	入浴用の椅子に移乗介助を行った後，職員が離れた場所で紙おむつの片づけをしていた際，利用者が転倒。頭部打撲、右肩骨折。
介護医療院	食堂にて、職員不在時に車椅子から立ち上がり転倒。左眉・鼻裂傷及び左頬・両膝に発赤あり。血圧・脈拍・X線検査の異常なし。

（2） 誤嚥・誤食

施設区分	事　故　概　要
有料老人ホーム（特定施設を除く）	他利用者からもらった沢庵を噛まずに飲み込み呼吸困難になり救急搬送され、入院。
介護老人福祉施設	スイートポテトで喉を詰まらせてしまい、チアノーゼが見られ、誤嚥性肺炎のため入院。
介護老人福祉施設	配膳したおやつの回収時に、低糖質ゼリーを摂取するはずが、一般用おやつを摂取しているところを発見。配膳ミスによる誤食。
介護医療院	義歯がないことが発覚。「喉が痛い」と訴えがあり病院受診、胃カメラ施行し義歯を除去。
特定施設(軽費老人ホーム)	食事介助の際、30秒～1分程度目を離したタイミングで誤嚥。殴打法・ハイムリック法実施して救急車対応。受診及び検査の結果、異常なし。

（3） 誤薬

施設区分	事　故　概　要
介護老人保健施設	同じ苗字の他の利用者の内服薬を服用させた。医師に報告し、本人の内服薬は中止。経過観察し、体調の変化はなし。
介護老人福祉施設	入浴脱衣の際に服から内服薬が落ち、確認をしたところ朝食後薬であることが判明。
介護老人福祉施設	薬ケースの本人の名前が書かれたところから薬を取り出し内服してもらうが、薬包には他利用者の名前が書かれていた。
特定施設(軽費老人ホーム)	居室内のゴミ箱から朝食後薬が捨てられているのを発見。体調が悪くなるからと内服せず。服薬漏れ。

（4） その他

施設区分	事　故　概　要
介護老人保健施設	車椅子に移乗しようとしたが、ブレーキを外したことを忘れ車椅子が動きバランスを崩し転倒した。
介護老人福祉施設	居室内で車椅子からベッドに移乗時、チューブが引っかかり尿カテーテルが破損。医療機関に救急搬送し、尿カテーテルを再留置。
介護老人福祉施設	非常扉を開錠し無断外出。職員玄関から入室してきたため警備員が発見。
通所介護	冬期期間中の送迎時にスリップし車両単独事故。同乗していた利用者は医療機関、受診するも異常なしと診断。

Ⅱ　令和6年度の重大事故

1　重大事故、死亡事故の割合

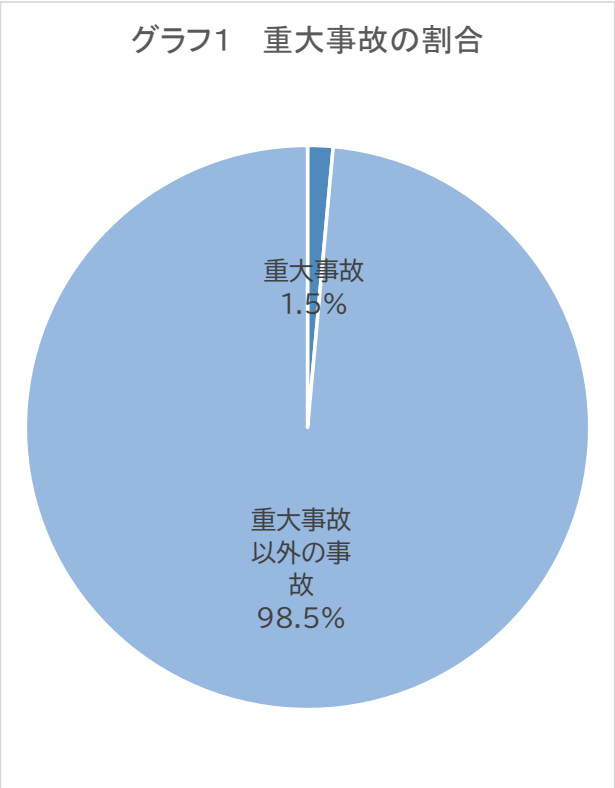
表1　重大事故の割合　　（単位：件、%）

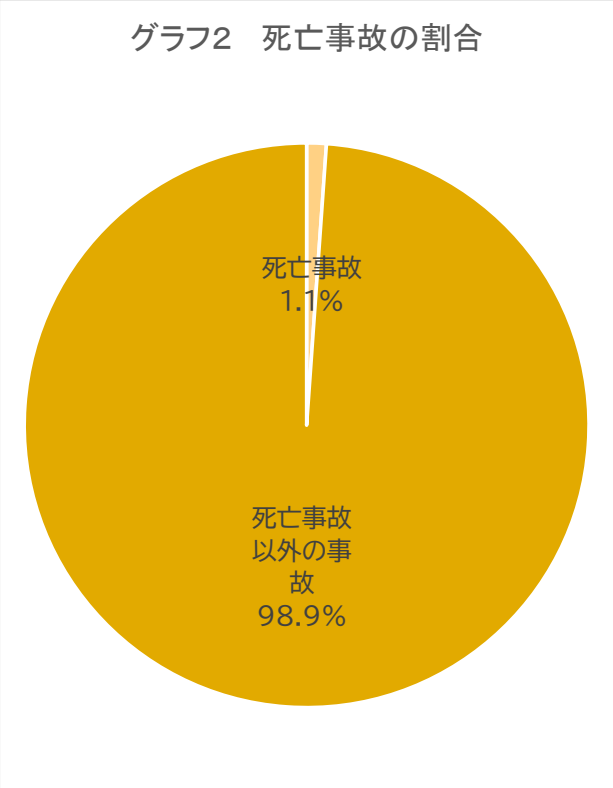
区　分	件数	構成比
重大事故	189	1.5
重大事故以外の事故	12,829	98.5
合　計	13,018	100.0

※　重大事故　：　死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

表2　死亡事故の割合　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
死亡事故	146	1.1
死亡事故以外の事故	12,872	98.9
合　計	13,018	100.0



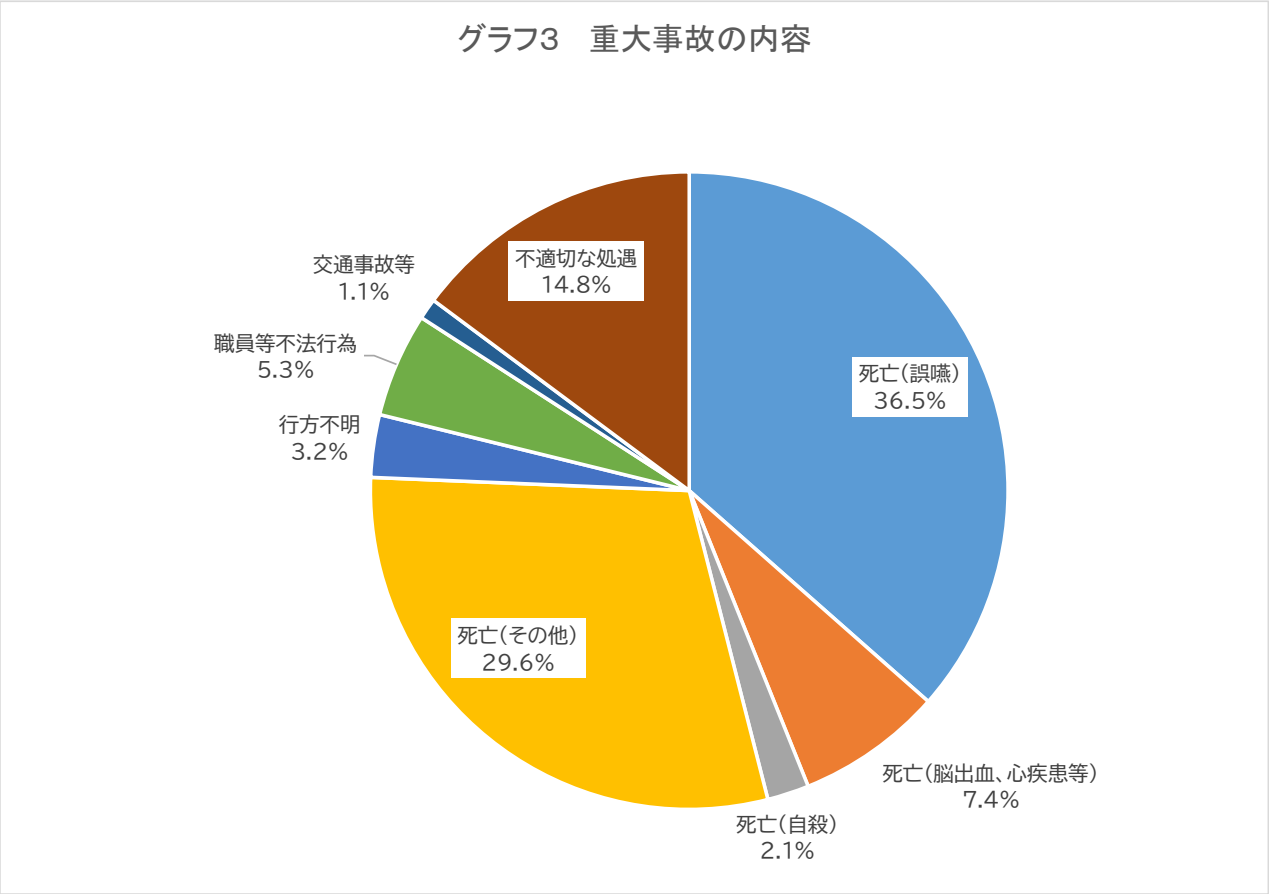


重大事故の割合は、全体の1.5%（189件）となっている。
また、死亡事故の割合は、事故総数全体の1.1%（146件）であり、重大事故に占める割合は、77.2%となっている。

2　重大事故の内容

表3　重大事故の内容　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比	
死亡（誤嚥、誤食等）	69	36.5	
死亡（脳出血、心疾患等）	14	7.4	
死亡（自殺）	4	2.1	
死亡（その他）	56	29.6	
行方不明	6	3.2	※内、2件死亡事故
職員等不法行為	10	5.3	
交通事故等	2	1.1	※内、1件死亡事故
不適切な処遇	28	14.8	
合　計	189	100.0	

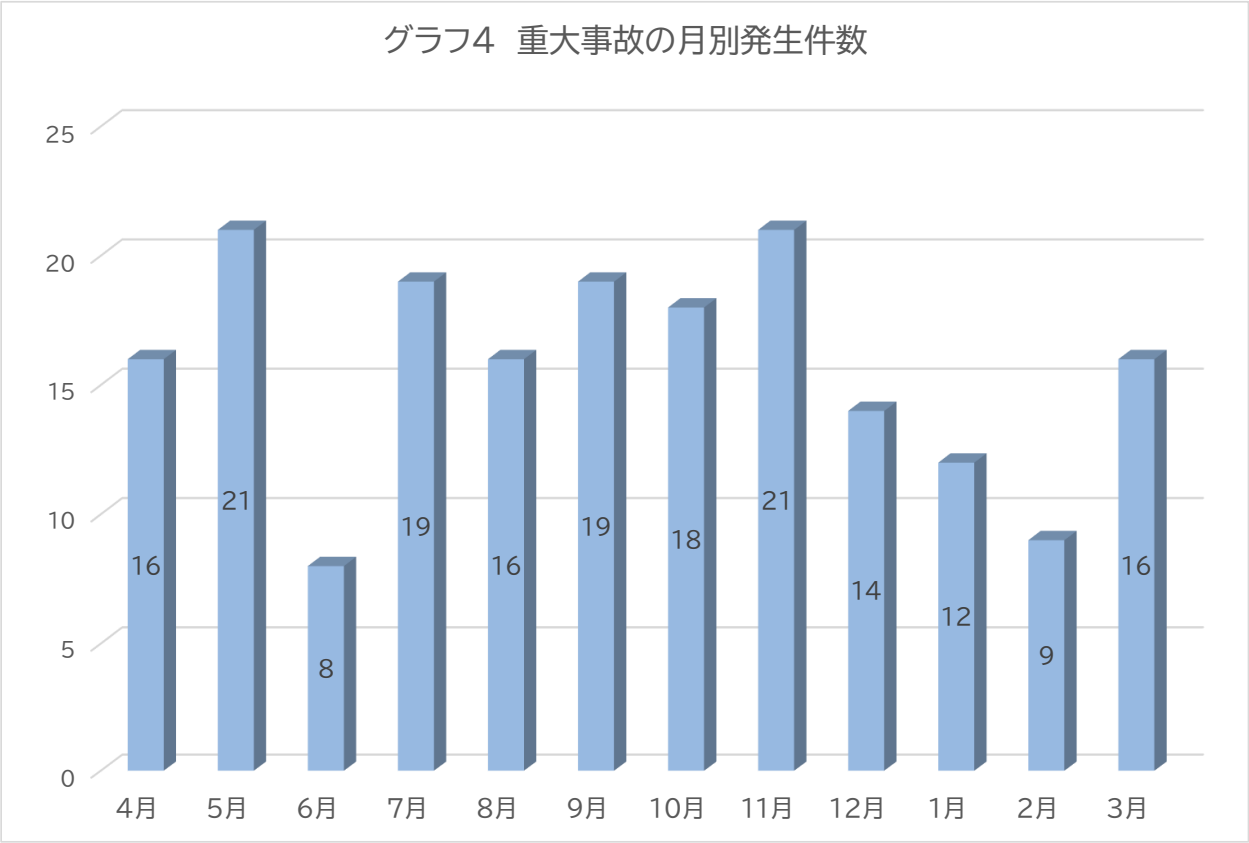


重大事故のうち、死亡事故の内容は、「死亡（その他）」を除いては、「死亡（誤嚥）」及び「死亡（脳出血、心疾患等）」が多く、あわせて全体の43.9%（83件）を占めている。

3　重大事故の月別発生件数

表4　重大事故の月別発生件数　　（単位：件、%）

月	件数	構成比
4月	16	8.5
5月	21	11.1
6月	8	4.2
7月	19	10.1
8月	16	8.5
9月	19	10.1
10月	18	9.5
11月	21	11.1
12月	14	7.4
1月	12	6.3
2月	9	4.8
3月	16	8.5
合　計	189	100.0



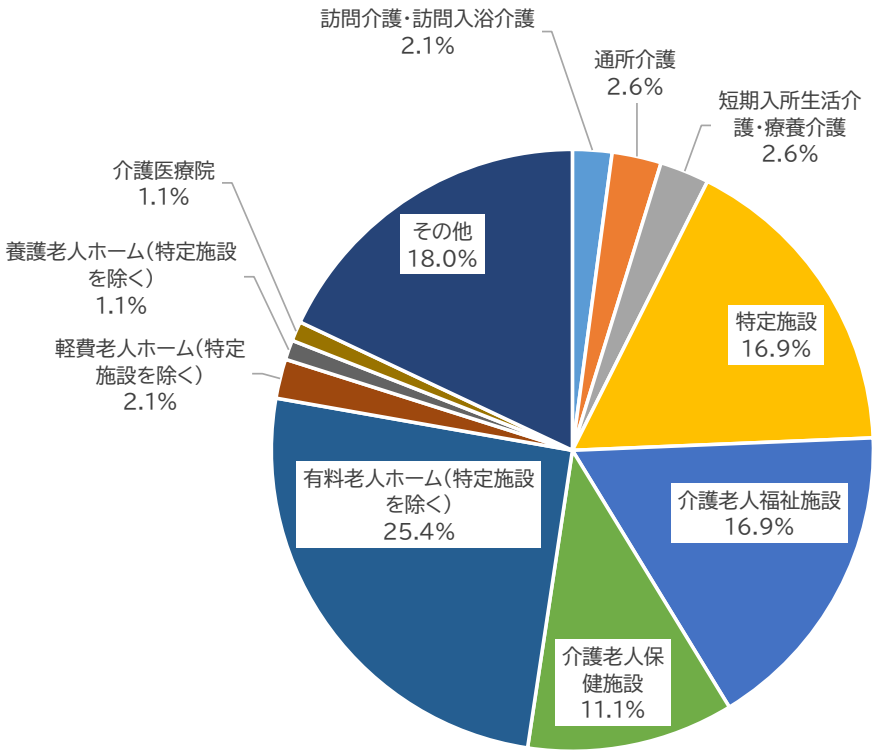
重大事故の月別発生件数は、5月、11月が21件と最も多く、次いで7月、9月が19件となっている。最も少ないのは6月で8件となっている。

4　重大事故の施設別発生件数

表5　重大事故の施設別発生件数　　（単位：件、%）

区　分	件数	構成比
訪問介護	4	2.1
通所介護	5	2.6
短期入所生活介護・療養介護	5	2.6
特定施設	32	16.9
介護老人福祉施設	32	16.9
介護老人保健施設	21	11.1
有料老人ホーム（特定施設を除く）	48	25.4
軽費老人ホーム（特定施設を除く）	4	2.1
養護老人ホーム（特定施設を除く）	2	1.1
介護医療院	2	1.1
その他	34	18.0
合　計	189	100.0

グラフ5　重大事故の施設別発生件数



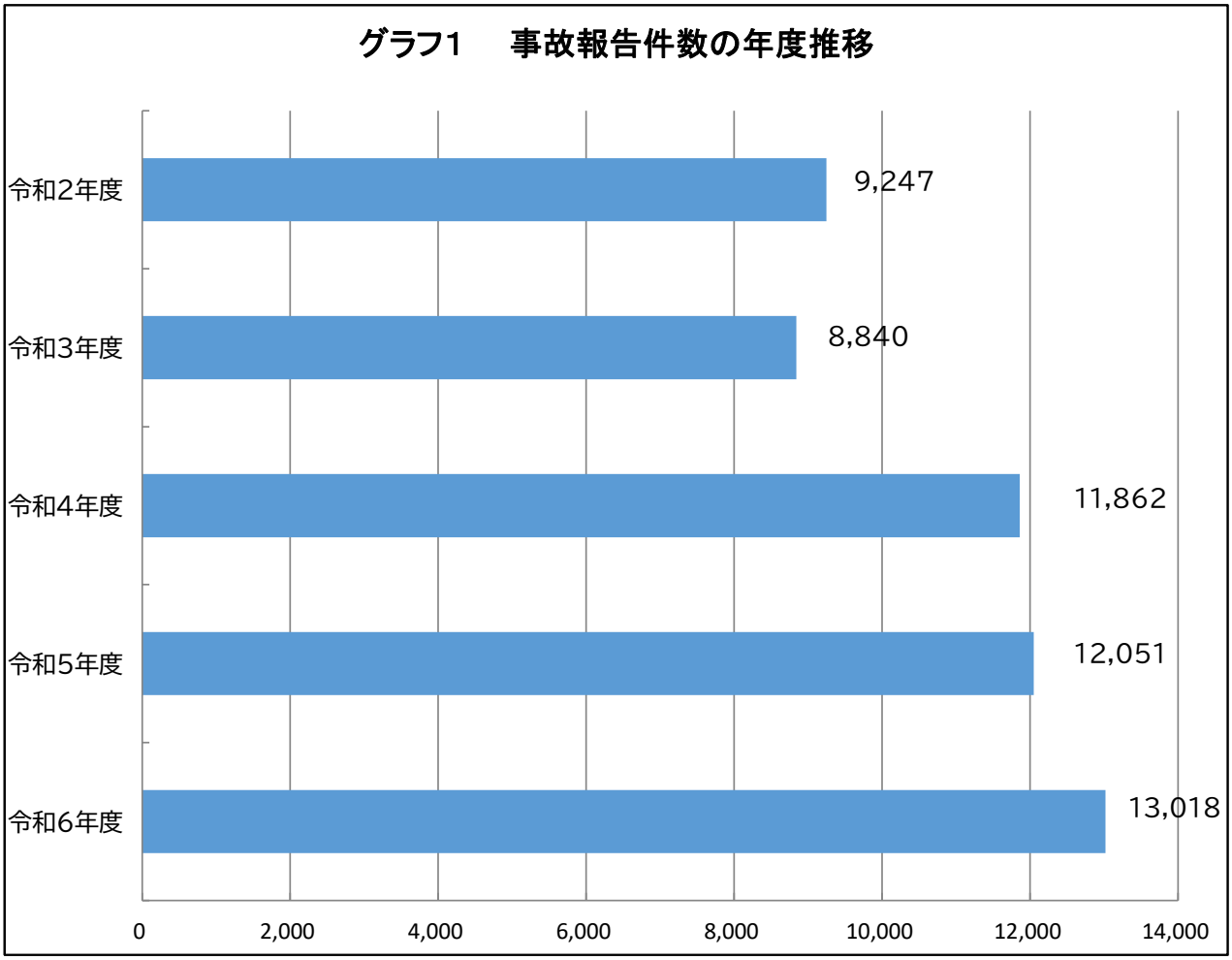
重大事故発生の主な施設は、「有料老人ホーム（特定施設を除く）」が25.4%（48件）、次いで「その他」が18.0%(34件)、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」、「特定施設」が16.9%（32件）となっている。

Ⅲ　年度比較

１　事故報告件数の年度推移

表１　事故報告件数　　（単位：件、%）

区　分	件数	前年度比
令和2年度	9,247	95.2%
令和3年度	8,840	95.6%
令和4年度	11,862	134.2%
令和5年度	12,051	101.6%
令和6年度	13,018	108.0%



2 事故の内容

表2 事故内容の年度推移 （単位：件）

区分	骨折	打撲	誤薬	誤嚥	無断外出	その他	合計
令和2年度	2,883	1,847	3,175	682	119	541	9,247
令和3年度	2,860	1,737	2,973	601	130	539	8,840
令和4年度	3,338	2,194	4,225	691	186	1,228	11,862
令和5年度	3,330	2,280	4,201	770	195	1,275	12,051
令和6年度	3,425	2,158	4,694	727	176	1,838	13,018

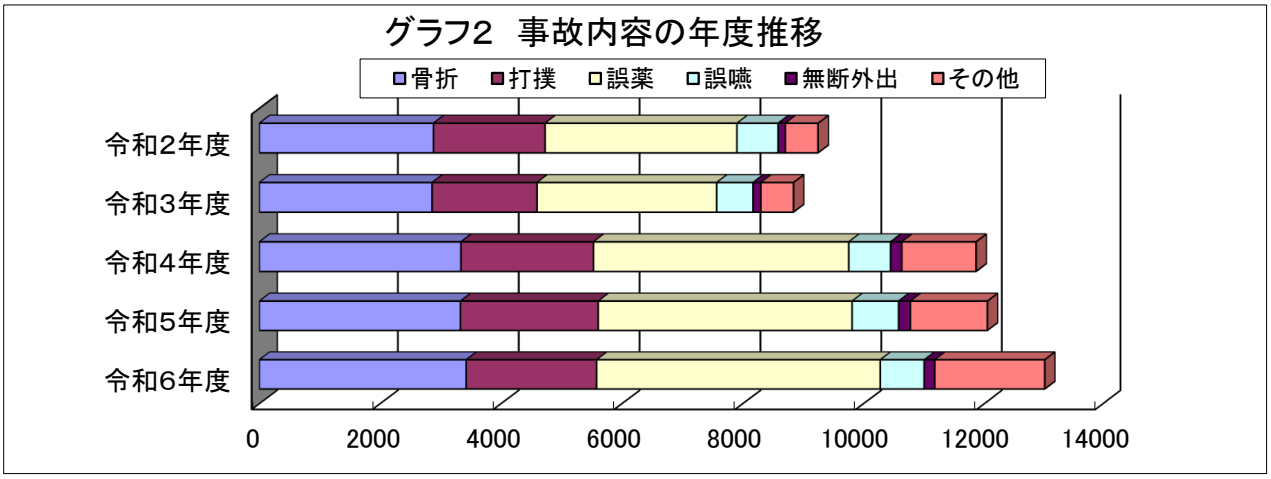
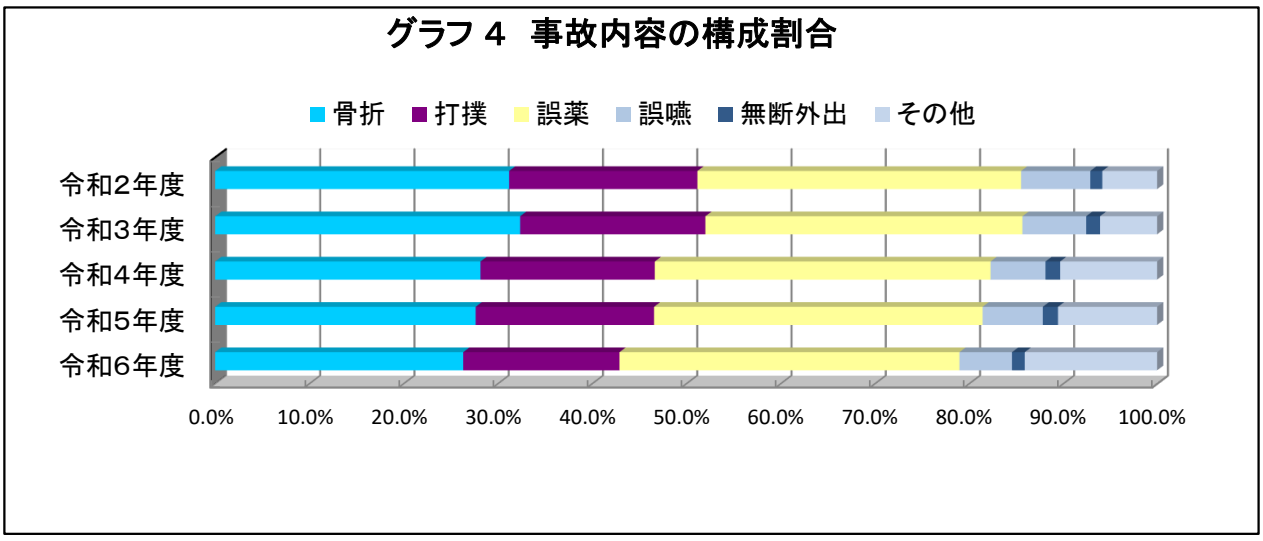


表3 過去5年間の事故内容における構成割合の比較 （単位：%）

構成比(%)	骨折	打撲	誤薬	誤嚥	無断外出	その他	合計
令和2年度	31.2%	20.0%	34.3%	7.4%	1.3%	5.9%	100.0%
令和3年度	32.4%	19.6%	33.6%	6.8%	1.5%	6.1%	100.0%
令和4年度	28.1%	18.5%	35.6%	5.8%	1.6%	10.4%	100.0%
令和5年度	27.6%	18.9%	34.9%	6.4%	1.6%	10.6%	100.0%
令和6年度	26.3%	16.6%	36.1%	5.6%	1.4%	14.1%	100.0%



Ⅳ その他

１ 対象施設一覧

訪問介護・訪問入浴介護
訪問看護
訪問リハビリテーション
通所介護
通所リハビリテーション
短期入所生活介護
短期入所療養介護
特定施設（養護老人ホーム）
特定施設（有料老人ホーム）
特定施設（軽費老人ホーム）
特定施設（その他）
福祉用具貸与・特定福祉用具販売
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
介護医療院
養護老人ホーム（特定施設を除く）
有料老人ホーム（特定施設を除く）
軽費老人ホーム（特定施設を除く）
その他